

認知症サポーター養成講座を開催

令和元年9月4日（水）鳴門市明神小学校の4年生・6年生の児童、教職員の計67名を対象に『認知症サポーター養成講座』を開催しました。基幹型地域包括支援センター職員の認知症キャラバンメイトが講師となり、認知症の種類



や記憶のしくみ、認知症になるとおこる言動などについて学習しました。また、講座では、“みんなで考えよう！”と題して、児童に寸劇を観てもらい、認知症の方の想いや接し方を考えるグループワークを行いました。その中で、子どもたちから『まずは挨拶をする！』『行きたいところまで一緒に行ってあげる！』『大人の人に相談する！』などたくさんの意見が出ました。そして、子どもたちの意見を取り入れた寸劇を代表児童が行い、とても有意義な学習となりました。今後は、今日の学習を活かし、認知症サポ



ーターとして、地域の小学生が認知症の方の応援者として活躍してくれることを期待しています！今後も認知症サポーターの養成に尚一層取り組んでまいります。

